

病虫害発生予察情報 第14号

6月月報

北海道病虫害防除所 令和6年(2024年)7月23日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080-Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

－南から暖かい空気が流れ込みやすく、晴れた日も多く顕著な高温。－

6月は、低気圧が北海道の北を通過することが多く、高気圧に覆われやすかったため、晴れた日が多かった。このため日照時間が多く、降水量は少なかった。さらに、低気圧に向かう南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため気温はかなり高く、月平均気温の平年差は、1946年の統計開始以降6月として高い方から第2位となった。一方で、一時的にオホーツク海付近に位置する高気圧から冷たい空気が流れ込み、オホーツク海側を中心に気温の低い日もあった。

上旬：千島近海や日本の東に位置する高気圧の圏内となることが多く、オホーツク海側では晴れた日が多かったため、日照時間がかなり多かった。一方で、太平洋側では東からの冷たく湿った気流の影響を受けたため、日照時間は少なかった。また、低気圧の影響を受けにくかったため、太平洋側では降水量が少なかった。

中旬：低気圧が北海道の北を通過することが多く、低気圧の影響を受けにくかった。このため降水量は少なく、太平洋側では日照時間は多かった。また、低気圧に向かう南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温はかなり高かった。旬平均気温の平年差は、日本海側、太平洋側及び北海道地方で、1946年の統計開始以降6月中旬として高い方から第1位の記録となった。

下旬：北海道付近を低気圧が通過することが多かったが、旬の後半は高気圧に覆われた日が多かった。このため、低気圧の影響を受けやすかったオホーツク海側では降水量が多く、高気圧に覆われやすかった太平洋側では日照時間が多かった。低気圧に向かう南からの暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温は高く、太平洋側ではかなり高かった。

気候表(気温は平年差(°C)、降水量・日照時間は比(%))を示す)

	気温偏差°C	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22 地点平均	+1.9	か高	78	少	115	多
日本海側10 地点平均	+1.6	か高	88	並	106	並
オホーツク海側4 地点平均	+1.8	高	92	並	127	多
太平洋側8 地点平均	+2.4	か高	60	少	120	多

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991～2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

II. 病虫害発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 水稻

1. いもち病（葉いもち） 発生期（取り置き苗） やや早

予察田の「きらら397」における取り置き苗（接種）での初発期は、比布町と北斗市で平年より早く、岩見沢市で平年より遅かった。本田での初発期は、北斗市で平年より早く、比布町で平年よりやや早かった。岩見沢市での発生は確認されていない。

予察田におけるいもち病の発生状況

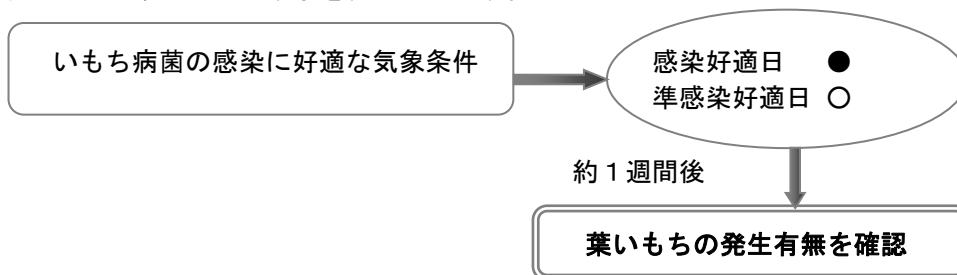
地点	品種名	取り置き苗初発期		本田初発期		平年数
		本年	平年	本年	平年	
岩見沢市	きらら397	7月1日	6月25日	未発生	7月20日	10
	ななつぼし	6月28日	6月25日	未発生	7月18日	10
比布町	きらら397	6月16日	6月23日	7月10日	7月14日	10
	ななつぼし	6月15日	6月24日	未発生	7月13日	8
北斗市	きらら397	6月14日	6月20日	7月5日	7月12日	10

注) 各予察田の窒素施用量は慣行栽培の5割増

葉いもち発生予測システム「BLASTAM」(プラスタム)の利用方法

BLASTAMは、アメダスの気象データ（気温・降雨・風速・日照）を利用して、いもち病の感染が起こりやすい日（感染好適日・準感染好適日）を推定するものです。

感染のおよそ1週間後頃から、葉いもち病斑が見えるようになります。好適日から約1週間後に、水田内の葉いもちの観察を行きましょう。



BLASTAM予測結果は防除所のホームページで確認できます！！

2. ヒメトビウンカ（第1回） 発生量 少

予察田の畦畔における成虫すくい取り数は比布町で平年より少なかった。長沼町及び北斗市では捕獲は認められなかった。

ヒメトビウンカ成虫の予察田における畦畔すくい取り数

月・半旬	畦畔すくい取り数 (20回振り×5日分換算値)					
	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	2.1	5.0	33.6	0	3.3
2半旬	0	0.6	25.0	28.5	0	1.3
3半旬	0	1.8	5.0	8.0	0	1.3
4半旬	0	0.5	0	2.8	0	0
5半旬	0	0.3	0	0.6	0	0.3
6半旬	0	0.4	0	1.5	0	0
平年数	10		10		10	

3. イネドロオイムシ 発生期 並 発生量 少

予察田における産卵初発期は、長沼町で平年よりやや早く、北斗市では平年より遅かった。比布町では産卵が認められていない。幼虫初発期は長沼町で平年並、北斗市では平年よりやや遅かった。比布町では幼虫は認められていない。

卵塊数及び幼虫の発生量は長沼町で平年並、比布町及び北斗市では平年より少なかった。

一般田における6月6半旬の巡回調査では空知地方の1地点において卵塊が認められたものの、要防除水準（2卵塊/株）に達した地点はなかった。

予察田におけるイネドロオイムシの初発期

	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
産卵	6.I	6.II	-	6.IV	7.I	6.II
幼虫	6.IV	6.IV	-	6.V	6.V	6.IV
平年数	10		10		10	

予察田におけるイネドロオイムシの発生状況

月・半旬	卵塊数(25株あたり)						幼虫数(25株あたり)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	9	2.2	0	0	0	0.6	0	0	0	0	0	0
2半旬	18	6.7	0	0.2	0	1.5	0	2.3	0	0	0	0
3半旬	21	11.5	0	0.4	0	3.3	0	15.9	0	0.4	0	1.6
4半旬	15	15.6	0	1.2	0	4.7	68	28.5	0	1.0	0	4.5
5半旬	4	20.1	0	0.8	0	5.0	72	56.8	0	4.8	0	16.6
6半旬	4	20.8	0	1.1	0	2.7	48	80.2	0	5.4	0	36.4
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるイネドロオイムシの卵塊及び幼虫数(25株あたり)

普及センター	地点数	卵塊				幼虫				
		6月3半旬		6月6半旬		6月6半旬		6月6半旬		
		本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	
空知	本所	6	0	6.5	1.0	0.3	2.5	19.8		
	南東部	2	0	0	0	0	0	0		
	南西部	3	0	0	0	0	0	0		
	中空知	4	8.3	1.3	0	0	6.8	5.0		
	北空知	7	0	0.9	0	0.4	0.1	8.6		
石狩	本所	2	0	0	0	0	0	0		
	北部	7	0	0	0	0	0	0		
後志	本所	4	0	0.8	0	0	0	0		
胆振	東胆振	4	0	0	0	0	0	0		
普及センター	地点数	卵塊				幼虫				
		6月3半旬		6月6半旬		6月6半旬		6月6半旬		
		本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	
日高	西部	2	0	0	0	0	0	0		
	本所	1	0	0	0	0	1.0	0	2.0	
檜山	本所	2	0	0	0	0	0	0		
	北部	2	0	0	0	0	0	0		
上川	本所	7	0	0	0	0	0	0		
	富良野	3	0	0	0	0	0	0		
	大雪	4	0	0	0	0	0	0		
	士別	3	0	0	0	0	0	0		
	名寄	3	0	0	0	0	0	0		
留萌	本所	4	0	0	0	0	0	0		
	南留萌	2	0	0	0	0	0	0		

4. アカヒゲホソミドリカスミカメ(第1回) 発生期 早 発生量 やや多

予察田の畦畔におけるすくい取りによる成虫初発期は、長沼町、比布町及び北斗市いずれの地点においても平年より早かった。

予察田による成虫の誘殺数は、北斗市及び比布町で平年より多く、長沼町で平年よりやや多かった。予察田の畦畔における成虫すくい取り数は、北斗市及び比布町で平年より多く、長沼町では平年より少なかった。

巡回調査では、多発生の目安となる畦畔すくい取り捕獲数5頭(第1回発生期)に達した地点は認められなかった。

アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫の予察田誘殺数および予察田における畦畔すくい取り数

月・半旬	予察田誘殺数						畦畔すくい取り数 (20回振り×5日分換算値)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.7	0	2.4	0	0.9	0	4.5	0	0	0	0.3
2半旬	0	2.7	15	1.8	3	1.8	2.5	7.5	50.0	3.3	0	1.5
3半旬	13	6.5	19	2.5	30	3.2	1.3	22.8	8.3	4.0	0	0.8
4半旬	17	10.2	2	1.4	10	1.5	5.0	8.6	0	4.5	15.0	2.5
5半旬	13	5.1	1	1.1	10	1.6	5.0	1.7	0	1.7	2.5	0.5
6半旬	9	9.5	5	3.0	8	6.1	3.8	4.3	0	0.5	0	1.5
初発期	6月2日	6月10日	6月6日	6月13日	5月27日	6月12日	5月25日	6月6日	6月8日	6月15日	5月26日	6月10日
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるアカヒゲホソミドリカスミカメ成虫の畦畔すくい取り数(20回振り)

普及センター	地点数	6月6半旬		普及センター	地点数	6月6半旬				
		本年	前年			本年	前年			
空知	本所	6	0.2	0.5	日高	西部	2	0	0	
	南東部	2	0.5	0.5		渡島	本所	1	0	0
	南西部	3	0	1.3			檜山	本所	2	0
	中空知	4	0	1.3		北部		2	0	0
	北空知	7	0	0.9		上川	本所	7	0.3	0
石狩	本所	2	0.5	0	富良野		3	0	0.3	
	北部	7	0	0.3	大雪		4	0	0.8	
後志	本所	4	0	0	士別		3	0.3	1.0	
		東胆振	4	0.8	0.5		名寄	3	0	0
胆振	東胆振	4	0.8	0.5	留萌	本所	4	0	0	
		南留萌	2	0		0				

5. フタオビコヤガ(第1回) 発生量 並

予察田において、第1回幼虫の発生量は比布町では平年よりやや多く、長沼町で平年並であった。被害株率は比布町で平年より高く、長沼町で平年並であった。

予察田におけるフタオビコヤガの発生状況

月・半旬	幼虫数(25株あたり)				被害株率(%)			
	長沼町		比布町		長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.1	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	0.1	1	0	0	0	4.0	0
3半旬	0	0.7	1	0.1	0	1.0	8.0	0
4半旬	1	0.7	0	0.1	8.0	5.0	24.0	0
5半旬	2	0.4	0	0	12.0	11.0	24.0	0
6半旬	0	0.6	0	0	12.0	13.5	20.0	1.0
平年数	10		10		4		8	

B. 秋まき小麦

1. 赤さび病

発生量 多

<5月17日付け注意報第2号>

予察ほの「きたほなみ」での発生量は、長沼町、芽室町及び訓子府町で多かった。

一般ほにおける巡回調査の報告によると、6月3半旬時点では石狩、胆振、オホーツク及び十勝地方で発生が認められている。

予察ほにおける赤さび病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	17.02	3.20	34.00	12.96	—	28.23	10
		最上位葉	5.14	0.38	34.00	4.69	—	19.62	
		最上-1葉	21.63	2.29	—	14.13	—	35.59	
芽室町	きたほなみ	全葉	0.49	0.35	4.52	1.42	14.96	6.43	10
		最上位葉	0.01	0.00	0.54	0.19	8.80	5.06	
		最上-1葉	0.06	0.13	2.90	0.84	19.00	6.47	
訓子府町	きたほなみ	全葉	1.03	0.03	7.43	0.28	35.70	2.95	10
		最上位葉	0.00	0.00	1.30	0.02	17.50	1.00	
		最上-1葉	0.20	0.02	2.83	0.14	18.20	2.22	

注) — : 調査不能

一般ほにおける赤さび病の巡回調査結果

普及センター		地点数	病葉率(%)		普及センター		地点数	病葉率(%)		
			6月3半旬					6月3半旬		
			本年	前年				本年	前年	
空知	本所	5	—	—	留萌	本所	3	0	22.0	
	南東部	2	—	—		網走	本所	8	1.0	0
	南西部	4	—	—			清里	6	40.2	16.7
	北空知	2	—	—			網走	2	0	0
石狩	本所	3	10.0	0	美幌		5	0	0	
	北部	6	0	0	遠軽	3	0	16.7		
後志	本所	3	0	0.7	紋別	2	0	0		
胆振	本所	3	2.7	—	十勝	本所	7	—	—	
	東胆振	3	—	—		東部	6	—	—	
檜山	本所	2	0	—		東北部	5	—	—	
	北部	2	—	—		北部	3	0.3	—	
上川	本所	4	—	0		西部	3	—	—	
	富良野	3	—	—		南部	7	—	—	
	大雪	3	—	0						
	士別	4	0	—						
	名寄	3	—	0						

注1) — : 調査対象外(5月6半旬で調査終了)につき未調査

注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率(25茎調査)

2. うどんこ病 発生期 遅 発生量 やや少

予察ほの「きたほなみ」における初発期は、訓子府町でやや早く、長沼町で遅かった。芽室町での発生は確認されなかった。発生量は、訓子府町では平年よりやや多く、長沼町及び芽室町では平年より少なかった。一般ほにおける6月3半旬の巡回調査報告によると、いずれの地点とも発生が認められていない。

予察ほにおけるうどんこ病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼	きたほなみ	5月30日	5月1日	10
芽室	きたほなみ	未発生	5月18日	10
訓子府	きたほなみ	5月6日	5月10日	10

予察ほにおけるうどんこ病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	0	0.25	0	0.29	—	0.29	10
		最上位葉	0	0.00	0	0.01	—	0.08	
		最上-1葉	0	0.07	—	0.12	—	0.25	
芽室町	きたほなみ	全葉	0	0.04	0	0.05	0	0.01	10
		最上位葉	0	0.00	0	0.01	0	0	
		最上-1葉	0	0.00	0	0.01	0	0.00	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0.15	0.01	0.11	0.02	0	0.02	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0.02	
		最上-1葉	0.03	0.00	0	0.01	0	0.01	

注) —: 調査不能

一般ほにおけるうどんこ病の巡回調査結果

普及センター		地点数	病葉率(%)		普及センター		地点数	病葉率(%)		
			6月3半旬					6月3半旬		
			本年	前年				本年	前年	
空知	本所	5	—	—	留萌	本所	3	0	0	
	南東部	2	—	—		網走	本所	8	0	0
	南西部	4	—	—			清里	6	0	0
	北空知	2	—	—			網走	2	0	0
石狩	本所	3	0	0	美幌		5	0	0	
	北部	6	0	0	遠軽	3	0	0		
後志	本所	3	0	0	紋別	2	0	0		
胆振	本所	3	0	—	十勝	本所	7	—	—	
	東胆振	3	—	—		東部	6	—	—	
檜山	本所	2	0	—		東北部	5	—	—	
	北部	2	—	—		北部	3	0	—	
上川	本所	4	—	0	西部	3	—	—		
	富良野	3	—	—	南部	7	—	—		
	大雪	3	—	0						
	士別	4	0	—						
	名寄	3	—	0						

注1) —: 調査対象外(5月6半旬で調査終了)につき未調査

注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率(25茎調査)

3. アブラムシ類 発生期 やや早 発生量 やや少

予察ほにおけるムギヒゲナガアブラムシの初発期は、訓子府町で平年よりやや早く、長沼町では平年並であった。ムギクビレアブラムシの発生は、長沼町及び訓子府町いずれの地点においても認められなかった。ムギヒゲナガアブラムシの発生量は、訓子府町で平年より多く、長沼町で平年より少なかった。

予察ほの秋まき小麦におけるアブラムシ類の発生状況

月・半旬	ムギヒゲナガアブラムシ				ムギクビレアブラムシ			
	長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	-	0	0	0	-
2半旬	0	1.4	0	0.3	0	0.1	0	11.7
3半旬	0	0.8	12	5.7	0	0.1	0	9.0
4半旬	0.3	2.0	44	4.3	0	0.9	0	3.9
5半旬	0	2.0	33	10.5	0	0.5	0	6.6
6半旬	0	3.6	0	10.2	0	3.5	0	10.6
初発期	6.IV	6.IV	6.III	6.IV	-	6.VI	-	6.IV
平年数	10		9		10		9	

注) 25穂あたりの寄生虫数

C. 春まき小麦

1. ムギキモグリバエ 発生量 やや少

<5月21日付け注意報第3号>

予察ほにおける成虫すくい取り数は、比布町で平年並、長沼町では平年より少なかった。

予察ほの春まき小麦におけるムギキモグリバエのすくい取り数

月・半旬	長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	23.8	75.4	305.0	236.1
2半旬	3.8	55.7	470.0	439.5
3半旬	0	46.4	211.7	176.8
4半旬	0	12.8	30.0	56.5
5半旬	0	9.2	10.0	29.7
6半旬	0	5.3	0	31.4
平年数	10		10	

注) 20回振り×5日分換算値

D. とうもろこし

1. オオタバコガ 発生期 早 発生量 やや多

フェロモントラップによる成虫の初誘殺は、比布町で5月18日、北斗市で5月13日に認められ、平年より早かった。長沼町(平年:6月13日)、芽室町及び訓子府町では誘殺が認められなかった。

北斗市の誘殺数は平年より多く、比布町は平年並であった。

オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	0	0	0.2	1	0	0	0	0	0
3半旬	0	0.3	0	0.3	0	0	0	0	0	0
4半旬	0	0.8	1	0.1	0	0	0	0	0	0
5半旬	0	0.6	0	0.1	0	0	0	0	0	0
6半旬	0	0.2	0	0	1	0.3	0	0	0	0
初発期	-	6月13日	5月18日	6月4日	5月13日	6月1日	-	-	-	-
平年数	10		10		9		9		8	

E. 豆類

1. タネバエ (大豆) 発生量 並

予察ほの大豆における被害個体率は、長沼町、芽室町及び訓子府町いずれの地点においても平年並であった。

予察ほにおけるタネバエの被害状況(%)

	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
被害個体率	60.0	57.1	16.3	12.2	15.4	15.6
健全個体率	23.3	37.4	80.6	82.9	82.6	77.7
他不出芽	16.7	5.5	3.1	4.9	2.0	6.7
平年数	10		9		10	

注) 他不出芽: タネバエ被害以外の不出芽を示す

2. ジャガイモヒゲナガアブラムシ(大豆) 発生期 早 発生量 並

黄色水盤におけるジャガイモヒゲナガアブラムシの初発期は、長沼町及び芽室町で平年より早く、訓子府町では平年よりやや早かった。

黄色水盤による捕獲数は、訓子府町で平年よりやや多く、長沼町及び芽室町では平年より少なかった。

予察ほの大豆における寄生虫数は、訓子府町で平年よりやや多く、長沼町及び芽室町では平年並であった。

黄色水盤によるジャガイモヒゲナガアブラムシの誘殺数と初発期

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	1.0	0	0	1	1.7
2半旬	0.5	3.5	0	0.3	1	2.0
3半旬	2.5	1.9	0	0.1	4	0.5
4半旬	0	2.2	0	0	2	0.1
5半旬	0	1.5	0	0.1	1	0.7
6半旬	0	0.9	0	0	1	1.1
初発期	5.V	6.I	5.V	6.III	6.I	6.II
平年数	10		10		10	

予察ほの大豆におけるジャガイモヒゲナガアブラムシの発生状況

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	-	1.5	-	0	-	0.7
2半旬	1	2.6	0	0.4	0	4.0
3半旬	11	3.2	0	0	2	3.5
4半旬	8.5	5.1	2	2.2	5.5	2.4
5半旬	1.5	5.4	2	1.3	9	2.8
6半旬	1	2.1	0	1.3	5.5	1.7
平年数	10		10		9	

注1) 25株2小葉(計50小葉)あたりの寄生虫数

注2) -: 調査不能

3. マメアブラムシ(小豆) 発生期 やや早 発生量 多 <7月10日付け注意報第6号>

予察ほにおける初発期は、長沼町で平年より早く、芽室町及び訓子府町で平年並であった。

寄生株率は長沼町及び芽室町では平年より高く、訓子府町で平年並であった。

予察ほの小豆におけるマメアブラムシ寄生株率(%)

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月2半旬	0	0	0	0.2	-	0
3半旬	20	2.4	0	0.3	0	0.4
4半旬	56	12.3	4	2.3	0	0.8
5半旬	0	19.6	24	7.5	0	1.2
6半旬	8	13.6	56	19.1	4	4.8
初発期	6.III	6.IV	6.IV	6.IV	6.VI	6.VI
平年数	9		10		10	

注)-:調査不能

F. ばれいしょ

1. 疫病 発生期 ー

予察ほの「とうや」における初発期は、訓子府町では平年並であった。長沼町、北斗市及び芽室町では発生を認めていない。

一般ほにおける巡回調査の報告では、檜山地方で発生が認められている。

予察ほにおける疫病の初発期

地点	品種名	本年	平年	平年数
長沼町	とうや	未発生	7月15日	7
	スノーマーチ	未発生	7月19日	9
北斗市	とうや	未発生	7月8日	10
芽室町	とうや	未発生	7月12日	10
	スノーマーチ	未発生	7月14日	10
訓子府町	とうや	7月16日	7月14日	8
	スノーマーチ	未発生	7月16日	8

一般ほにおける疫病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	発病株率(%)		普及センター		調査地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬					6月6半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	南東部	1	0	0	網走	本所	8	0	0
後志	本所	4	0	0		清里	6	0	0
胆振	本所	2	0	0		網走	2	0	0
渡島	本所	1	0	0		美幌	2	0	0
檜山	本所	2	3.0	11.5	十勝	本所	5	0	0
	北部	2	0.5	0		東部	6	0	0
上川	富良野	3	0	0	東北部	4	0	0	
	大雪	2	0	0	北部	3	0	0	
	士別	1	0	0	西部	2	0	0	
	名寄	1	0	0	南部	7	0	0	
					釧路	本所	2	0	0
					根室	北根室	1	0	0

2. アブラムシ類 発生量 やや多

予察ほにおけるジャガイモヒゲナガアブラムシの発生量は、訓子府町で平年より多く、長沼町及び芽室町で平年並であった。モモアカアブラムシはいずれの地点においても発生が認められなかった。ワタアブラムシの発生量は、長沼町で平年より多かった。芽室町及び訓子府町で発生が認められなかった。

6月6半旬の巡回調査では、全68地点中13地点で寄生が認められた。

予察ほにおけるアブラムシ類の発生状況

月・半旬	ジャガイモヒゲナガアブラムシ						モモアカアブラムシ					
	長沼町		芽室町		訓子府町		長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.2	0	0	0	0.1	0	0	0	0	0	0
2半旬	1	0.3	0	0.1	1	0.6	0	0.1	0	0	0	0
3半旬	2	1.6	0.5	0.2	1	0.4	0	0.0	0	0	0	0
4半旬	1.5	1.6	0.5	0	5.2	0.4	0	0.0	0	0	0	0
5半旬	1	1.0	0	0.4	1.2	2.0	0	0.4	0	0	0	0
6半旬	0	1.2	0.5	1.1	3.2	3.0	0	0.3	0	0	0	0.3
平年数	10		10		10		10		10		10	

月・半旬	ワタアブラムシ					
	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	0	0	0	0	0
3半旬	9	0.2	0	0	0	0
4半旬	8	0.3	0	0.1	0	0.6
5半旬	5	1.1	0	0.4	0	0.3
6半旬	1.5	3.0	0	0.3	0	2.9
平年数	10		10		10	

注) 20株各2複葉、合計40複葉を調査。虫数は10株20複葉あたり換算虫数。品種は「スノーマーチ」

巡回調査によるばれいしよのアブラムシ類寄生虫数

普及センター	地点数	6月3半旬		6月6半旬	
		本年	前年	本年	前年
空知	南東部	1	0	0	0
後志	本所	4	0	0	0
胆振	本所	2	0	0	0.3
渡島	本所	1	0	0	0
檜山	本所	2	0	0	1.0
	北部	2	0	1.0	3.0
上川	富良野	3	0	0	0.3
	大雪	3	0	0	0
	士別	1	0	0	0
	名寄	1	0	0	0
網走	本所	8	0.5	0.4	1.3
	清里	6	0	0	0.2
	網走	2	0	0	0
	美幌	2	0	0	0
十勝	本所	5	0	0.6	1.0
	東部	6	0	0.2	0
	東北部	4	0	2.0	0
	北部	3	0	0	0
	西部	2	0	0	1.5
南部	7	0	2.0	0	
釧路	本所	2	0	0	0
根室	北根室	1	0	0	0

注) 10株20複葉調査

G. てんさい

1. 褐斑病 発生期 やや早

<7月5日付け注意報第4号>

予察ほの抵抗性“やや強”品種「ライエン」における初発期は、芽室町では平年より早く、訓子府町では平年よりやや早く、長沼町では平年よりやや遅かった。

予察ほにおける褐斑病の発生状況

地点	品種名 (褐斑病抵抗性)	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	あまいぶき(弱)	7月2日	7月7日	10
	ライエン(やや強)	7月11日	7月8日	9
芽室町	あまいぶき(弱)	6月26日	7月4日	10
	ライエン(やや強)	6月27日	7月4日	9
	スタウト(強)	6月27日	7月6日	10
訓子府町	ライエン(やや強)	7月8日	7月11日	10

2. ヨトウガ(第1回) 発生期 並 発生量 並

予察ほにおける産卵の初発期は、長沼町で平年並、芽室町では平年よりやや遅かった。訓子府町では産卵は認められなかった。

食害程度は、長沼町では平年よりやや高く、芽室町及び訓子府町では平年並であった。

巡回調査では全75地点中、要防除水準(被害株率50%)を超える発生は認められなかった。

予察ほにおけるヨトウガの卵塊数および食害程度

月・半旬	卵塊数(50株あたり)						食害程度					
	長沼町		芽室町		訓子府町		長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.8	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0
2半旬	0	1.7	0	0.9	0	0	0	0.2	0	0	0	0
3半旬	0	2.9	1	1.3	0	0.1	0	0.6	0	0.1	0	0
4半旬	0	2.5	0	1.2	0	0.7	8	2.1	0.5	0.5	0	0
5半旬	0	1.5	0	0.6	0	0.1	14	6.0	1	3.4	1	0.3
6半旬	0	0.8	0	0.2	0	0.2	16	13.1	10	8.0	3	1.8
初発期	6.II	6.II	6.III	6.II	-	6.IV						
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるてんさいのヨトウガ被害株率(%)

普及センター	地点数	6月6半旬		普及センター	地点数	6月6半旬		
		本年	前年			本年	前年	
空知	南東部	1	2.0	網走	本所	9	8.0	
	石狩	3	1.3		清里	6	3.7	
	後志	3	6.3		網走	2	1.0	
	胆振	本所	4		0	美幌	5	3.4
		東胆振	3		18.3	遠軽	3	8.7
上川	富良野	2	0	十勝	本所	7	1.7	
	大雪	2	1.0		東部	5	1.2	
	士別	1	0		東北部	4	10.0	
	名寄	1	10.0		北部	3	2.7	
					西部	3	1.0	
				南部	8	4.0		

注)50株調査

3. テンサイトビハムシ **発生量 並**

予察ほにおける食害程度は、芽室町及び訓子府町では平年並、長沼町で平年よりやや低かった。

予察ほにおけるテンサイトビハムシの食害程度

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	24	29.7	15	12.3	21	22.6
2半旬	24	29.9	9	11.8	23	24.3
平年数	10		10		9	

H. たまねぎ

1. 白斑葉枯病 **発生期 並 発生量 並**

予察ほにおける初発期は、長沼町では平年よりやや早く、訓子府町では平年並であった。6月6半旬における発生量は、長沼町及び訓子府町とも平年並であった。

一般ほにおける巡回調査の報告によると、空知及びオホーツク地方で発生が認められている。

予察ほにおける白斑葉枯病の発生状況

地点	品種名	初発期		発病度						平年数
				6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	北もみじ2000	6月12日	6月15日	0	0	5.5	8.8	19.0	22.3	10
訓子府町	北もみじ2000	6月28日	6月27日	0	0	0	0.2	1.0	1.6	10

一般ほにおける白斑葉枯病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	発病株率(%)		普及センター		調査地点数	発病株率(%)	
			6月6半旬					6月6半旬	
			本年	前年				本年	前年
空知	本所	5	0	0	網走	本所	8	0	0
	南東部	3	0	0		清里	2	1.0	0
	南西部	3	0	0		美幌	4	0	0
	中空知	1	4.0	0		遠軽	1	7.0	10.0
石狩	北部	2	0	0	十勝	本所	3	0	0
上川	富良野	4	0	0		東部	2	0	3.0
	大雪	1	0	0					
	士別	1	0	0					

2. ネギアザミウマ **発生期 早 発生量 やや少**

予察ほにおける成虫の初発期は、長沼町で平年より早く、訓子府町で平年並であった。幼虫の初発期は、長沼町で平年より早く、訓子府町で平年よりやや早かった。被害の初発期は、長沼町では平年より早く、訓子府町で平年よりやや早かった。

寄生成虫数及び幼虫数は、訓子府町では平年並、長沼町では平年より少なかった。被害程度は、長沼町及び訓子府町で平年よりやや低かった。

巡回調査では、寄生株率 50%以上の地点は全 42 地点中、オホーツク地方の 1 地点であった。

予察ほにおけるネギアザミウマの発生状況

月・半旬	成虫数(25株あたり)				幼虫数(25株あたり)				被害程度			
	長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町		長沼町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0.3	3.5	1	17.7	0	0.1	0	0.5	0.8	1.8	2.5	8.9
2半旬	1.5	6.8	6	23.6	0	1.8	1	4.4	1.3	5.3	7	14.9
3半旬	12	16.0	21	49.6	0	11.8	14	32.1	4.8	11.2	13	22.7
4半旬	8	20.3	47	48.1	41.5	71.1	223	221.4	11	17.5	26	34.9
5半旬	9.5	26.0	12	42.2	31.5	204.8	346	512.7	13.5	23.2	36	45.3
6半旬	17	44.9	59	42.5	16	244.4	871	844.7	21	29.3	52	55.2
初発期	5.IV	6.I	5.VI	5.VI	5.IV	6.III	6.II	6.III	5.IV	6.II	5.VI	6.I
平年数	10		10		10		10		10		10	

巡回調査によるたまねぎのネギアザミウマ寄生株率(%)

普及センター	地点数	6月6半旬		普及センター	地点数	6月6半旬			
		本年	前年			本年	前年		
空知	本所	5	7.2	57.6	上川	富良野	4	10.0	21.5
	南東部	3	12.0	45.7		大雪	1	10.0	15.0
	南西部	3	18.3	28.0		士別	1	5.0	51.0
	中空知	3	0	32.0		網走	本所	8	7.0
石狩	北部	2	8.5	0	清里		2	56.0	80.0
					美幌		4	2.0	5.0
					遠軽		1	3.0	23.0
十勝	本所	3	10.7	27.7	東部	2	6.0	49.0	

注) 25株調査

I. あぶらな科野菜

1. モンシロチョウ 発生量 やや多

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、北斗市で平年より多く、長沼町では平年よりやや多かった。

予察ほのキャベツにおけるモンシロチョウ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	2	3.6	26.4	13.3
2半旬	8	5.8	29.2	13.1
3半旬	8	6.6	22.4	14.8
4半旬	9	7.2	39	13.2
5半旬	4	4.1	36	10.9
6半旬	10	5.0	35	11.7
平年数	10		10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

2. コナガ 発生量 やや多

< 7月10日付け注意報第5号 >

フェロモントラップによる誘殺数は、北斗市で平年より多く、長沼町、比布町、芽室町及び訓子府町で平年並であった。

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、長沼町で平年より多く、北斗市で平年並であった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	21	17.0	27	28.8	24	29.8	3	9.8	2	7.2
2半旬	15	16.5	34	35.2	48	22.0	4	4.9	9	5.4
3半旬	27	30.6	10	23.3	18	26.7	3	5.0	1	6.0
4半旬	19	25.8	22	19.3	41	22.6	6	2.9	0	4.7
5半旬	14	31.9	2	14.5	84	20.3	4	3.0	2	4.3
6半旬	63	37.0	11	16.0	249	31.0	9	3.2	5	3.5
平年数	10		9		10		10		10	

注) 設置場所はアブラナ科野菜ほ場近辺、比布町、芽室町はアブラナ科野菜以外のほ場近辺、訓子府町は雑草地

予察ほのキャベツにおけるコナガ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	2.7	3.2	1.7
2半旬	15	5.1	8	4.7
3半旬	82	13.4	16.4	9.9
4半旬	93	27.6	24	16.8
5半旬	158	56.6	29	29.0
6半旬	212	132.0	28	25.3
平年数	10		10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

J. りんご

1. モニリア病 発生量 少

長沼町の予察園(無防除)「相伝ふじ」(早生ふじ系)及び余市町の予察園(慣行防除)「昂林」では、モニリア病の発生は認められなかった。

一般園における巡回調査の報告によると本病の発生は認められていない。

予察園(長沼町)におけるモニリア病の発生状況

品種名	相伝ふじ			
	実腐花葉叢率(%)		株腐花葉叢率(%)	
	本年	平年	本年	平年
落花10日後	0	—		
落花20日後			0	—

調査年数が少ないため、平年値なし。

予察園(余市町)におけるモニリア病の発生状況

地点	品種名	調査時期	葉腐花葉叢率(%)	
			本年	平年
余市町	昂林	6月1週目	0	—
		6月2週目	0	—
		6月3週目	0	—

注1) 予察園(余市町)は慣行の防除を実施している。

注2) 調査年数が少ないため、平年値なし。

一般園におけるモニア病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	病葉率(%)			
			6月3半旬		6月6半旬	
			本年	前年	本年	前年
後志	北後志	2	0	0	0	0
胆振	本所	1	0	0	0	0
渡島	本所	1	0	0	0	0
留萌	南留萌	1	0	0	0	0

2. 黒星病 発生期 早 発生量 やや少

長沼町の予察園（無防除）「相伝ふじ」における初発期は平年より早かった。余市町の予察園（慣行防除）「昂林」では発生を認めていない。

発生量は、長沼町の予察園では平年よりやや少なかった。

一般園における巡回調査の報告では発生が認められていない。

予察園(長沼町)における黒星病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	相伝ふじ	5月15日	5月28日	7
余市町	昂林	未発生	-	-

予察園(長沼町)における黒星病の発生状況

地点	品種名	発病度											
		6月1半旬		6月2半旬		6月3半旬		6月4半旬		6月5半旬		6月6半旬	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
長沼町	相伝ふじ	4.5	2.8	5.9	6.7	10.2	12.7	13.1	16.9	15.4	22.2	18.7	29.4

予察園(余市町)における黒星病の発生状況

地点	品種名	病葉率(%)									
		6月1週目		6月2週目		6月3週目		6月4週目		6月5週目	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
余市町	昂林	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-

注1) 余市町の予察園は慣行防除

注2) 調査品種変更に伴い平年値なし

一般園における黒星病の巡回調査結果

普及センター		調査地点数	病葉率(%)			
			6月3半旬		6月6半旬	
			本年	前年	本年	前年
後志	北後志	2	0	0	0	0
胆振	本所	1	0	0	0	0
渡島	本所	1	0	0	0	0
留萌	南留萌	1	0	0	0	0

3. 斑点落葉病 発生期 - 発生量 少

長沼町の予察園（無防除）の「王林」、及び余市町の予察園（慣行防除）の「昂林」での発生は、確認されていない。

予察園(長沼町)における斑点落葉病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	王林	未発生	6月25日	10

予察園(長沼町)における斑点落葉病の発生状況

地点	品種名	新梢病葉率(%)						平年数
		6月2半旬		6月4半旬		6月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	王林	0	0	0	0.59	0	0.77	10

4. ハマキムシ類 発生期 並 発生量 並

予察園のフェロモントラップによるリンゴコカクモンハマキの初誘殺日は、長沼町及び余市町B（慣行防除）で平年よりやや早く、余市町A（慣行防除）で平年より遅かった。リンゴモンハマキの初誘殺日は、長沼町で平年よりやや早かった。余市町A及びBでは誘殺は認められなかった。

予察園のフェロモントラップによる誘殺数は、リンゴコカクモンハマキはいずれの地点においても平年並であった。リンゴモンハマキは長沼町では平年より多かった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、リンゴコカクモンハマキは石狩市及び七飯町で平年より多く、札幌市及び増毛町で平年より少なかった。壮警町では誘殺は認められていない。リンゴモンハマキは札幌市及び壮警町で平年より多く、石狩市で平年よりやや多く、七飯町で平年並、増毛町では平年より少なかった。

予察園におけるハマキムシ類のフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	リンゴコカクモンハマキ						リンゴモンハマキ					
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.4	0	0.3
2半旬	0	1.4	0	0.3	0	0.2	0	0	0	3.4	0	3.7
3半旬	13	5.1	0	0.8	1.3	0.9	1.5	0.8	0	3.9	0	4.5
4半旬	17	18.3	1.1	1.8	1.3	1.1	6.5	3.0	0	4.7	0	2.0
5半旬	11	16.5	2.9	1.7	1.4	1.6	15	9.5	0	1.8	0	1.1
6半旬	4	6.4	0.7	0.7	0.7	1.0	13	5.8	0	0.5	0	0.7
初誘殺日	6月12日	6月15日	6月26日	6月17日	6月19日	6月22日	6月12日	6月16日	-	6月8日	-	6月6日
平年数	10		10		10		4		4		4	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるリンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		石狩市		壮警町		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0.1	0.0	0	0	0	0	0	0.1	0	0
2半旬	0.7	0.5	0	0.1	0	0	0	0.0	0	0.4
3半旬	2.4	2.2	0.8	0.3	0	0.5	11.1	0.2	2.5	1.7
4半旬	2.0	5.1	3.4	0.5	0	1.1	12.1	2.8	1.5	2.1
5半旬	1.3	4.4	0.8	0.6	0	2.0	15.8	1.8	0.2	1.9
6半旬	3.1	3.5	0	0.7	0	1.1	3.8	2.3	0.8	2.6
平年数	10		10		10		10		10	

一般園におけるリンゴモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		石狩市		壮警町		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0	0.5	-	0	0	0	0.1
2半旬	0	0	0	0	2.5	0.7	0	0.0	0.6	0.4
3半旬	0	0	0	0	0.8	1.1	0	0.2	0	1.4
4半旬	0.7	0	0.2	0	0.2	0.9	0.2	0.8	0	1.3
5半旬	2.2	0	0.8	0.3	2.9	1.0	0.8	0.6	0	0.4
6半旬	4.4	1.1	0	0	1.1	0.2	2.5	1.1	0	0.0
平年数	4		4		4		4		4	

5. モモシクイガ 発生期 やや早 発生量 やや多

予察園のフェロモントラップによる初誘殺日は、長沼町（無防除）で平年よりやや早く、余市町B（慣行防除）で平年並、余市町A（慣行防除）で平年よりやや遅かった。

予察園のフェロモントラップによる誘殺数は長沼町及び余市町Bで平年より多く、余市町Aでは平年よりやや多かった。

長沼町における産卵初発期は6月25日（平年：7月2日）と平年より早かった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、札幌市及び壮瞥町で平年よりやや多く、七飯町では平年並であった。

予察園におけるモモシクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.1	0.3	0.1
2半旬	0	0	0	0.2	1.7	0.4
3半旬	5	2.3	2.5	0.8	2.5	2.0
4半旬	24	4.1	5.2	2.4	9.2	6.4
5半旬	69	10.6	9.3	3.5	19.3	9.4
6半旬	43	25.9	4.3	6.1	17.9	17.0
初誘殺日	6月12日	6月16日	6月18日	6月15日	6月10日	6月12日
平年数	10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるモモシクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		壮瞥町		七飯町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0.1	0.0	0	0	0	0
2半旬	0.7	0.2	0	0.0	0	0.0
3半旬	3.0	0.3	1.7	0.3	0	0.2
4半旬	6.5	1.1	5.3	0.4	0	0.0
5半旬	11.3	3.6	6.4	1.6	0	0.4
6半旬	13.1	11.0	2.6	3.0	0.6	0.9
平年数	10		10		10	

6. ハダニ類 発生量 少

リンゴハダニ及びナミハダニの発生は、長沼町（無防除）、余市町A及び余市町B（ともに慣行防除）のいずれの地点においても認められなかった。

予察園におけるハダニ類成虫の発生状況

月・半旬	リンゴハダニ						ナミハダニ					
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0
2半旬	0	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0
3半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0	3.2
5半旬	0	0	-	0	-	0	0	0	-	0.8	-	2.7
6半旬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.8
平年数	3		10		10		3		10		10	

注) 30葉あたりの寄生数。余市町A、Bの予察園は慣行防除。

7. キンモンホソガ 発生量 少

予察園におけるフェロモントラップ誘殺数は、長沼町（無防除）で平年よりやや少なく、余市町A及びB（ともに慣行防除）で平年より少なかった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、壮警町、七飯町及び増毛町で平年より少なかった。札幌市及び石狩市では誘殺が認められなかった。

予察園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0	0	0.3	0	0.3
2半旬	0	0.2	0	0.2	0	0.5
3半旬	0	0.1	0	1.5	1.3	1.8
4半旬	0	0.7	1.1	5.8	1.6	16.0
5半旬	4	4.1	2.9	11.3	2.1	25.6
6半旬	1	3.2	5	21.6	2.9	30.3
平年数	10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

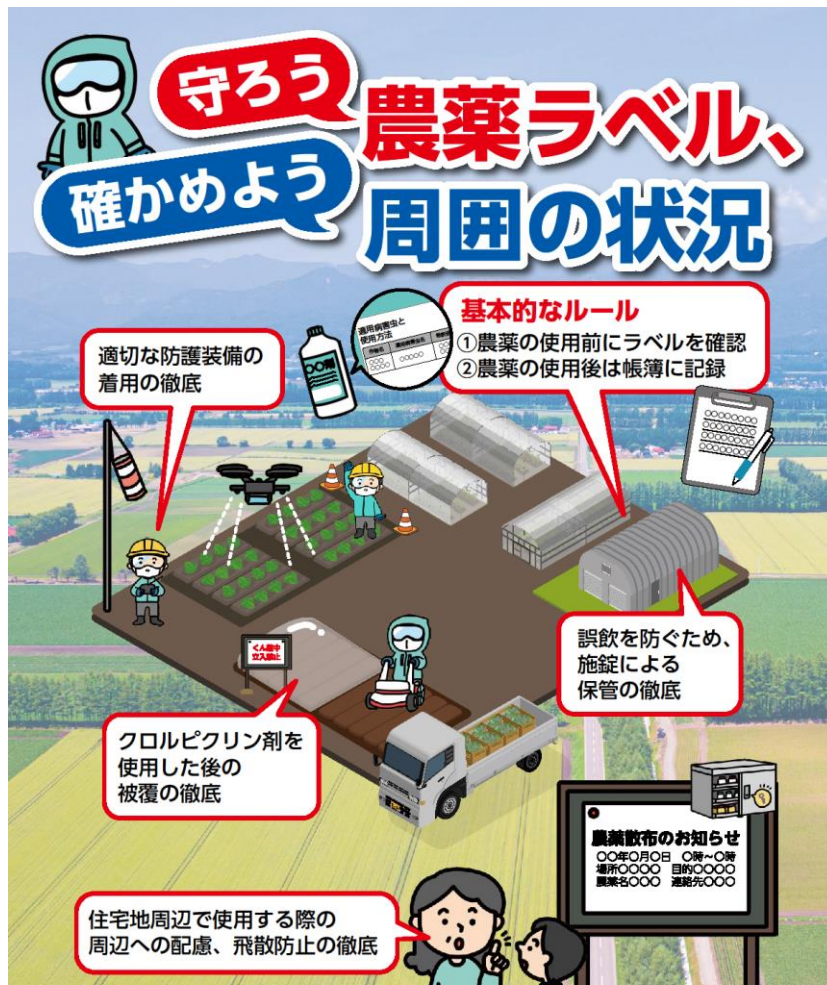
一般園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	札幌市		石狩市		壮警町		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	0.0	0	0.1	0	0.3	0	0.1	0	1.6
2半旬	0	0.2	0	0.2	0	0.0	0	0.1	0	0.2
3半旬	0	0.4	0	0	0	0.5	0	0.1	1.3	0.8
4半旬	0	0.6	0	0	0	3.3	0.7	2.1	4.8	8.0
5半旬	0	0.7	0	3.7	0	21.4	3.3	2.7	10.5	61.9
6半旬	0	0.5	0	6.5	1	31.4	0	8.2	12.5	107.0
平年数	10		10		10		10		10	

令和6年

6月1日～8月31日は**農薬危害防止運動**実施期間です！

北海道では、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬を使用する機会が増える6月から8月を期間として、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理等を推進する「**農薬危害防止運動**」を実施します。



https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/

農薬の適正使用 農林水産省 検索

令和6年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

北海道

令和6年6月1日～8月31日

★ 農薬情報の掲載サイト

農薬の登録情報や農薬取締法などについては、農林水産省ホームページの「農薬コーナー」をご覧ください。

URL <https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>

北海道農政部生産振興局技術普及課
(TEL 011-231-4111 (内線)27-838)
北海道病害虫防除所
(TEL 0123-89-2080)
各総合振興局・振興局農務課